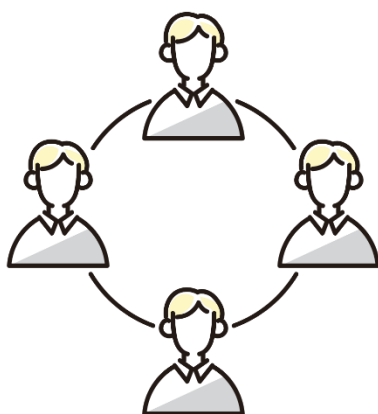


令和 6 年度

がんばる地域サポート事業 活動事例集



中津川市

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地 区	団 体 名	事 業 名	代表者名	ページ
1	中津	手賀野諏訪太鼓保存会	手賀野諏訪太鼓保存会事業	原 元之	1
2	苗木	苗木っこあつまれ実行委員会	苗木っ子あつまれ	小川 ゆかり	3
3	落合	孜汲舎の会	孜汲舎活動事業	水野 克司	5
4	阿木	阿木の記念誌作成委員会	阿木の史跡・文化財とふるさとの歌の記念誌を作成する	鈴木 弘之	7
5	坂下	やさか月の市実行委員会	やさか地域活性化事業	鎌田 則之	9
6	坂下	坂下消防友の会	避難所運営サポーター事業	加藤 展弥	11
7	加子母	有償ボランティア えぶろん	有償ボランティア【えぶろん】ボランティア活動推進事業	熊澤 恵美子	13
8	付知	つけち防災士会	つけち防災士会	西尾 和久	16
9	付知	付知町優良材生産研究会	付知川河川公園 桜の樹整備事業	三浦 八郎	18
10	福岡	富士山公園を美しくする会	満天星つつじを守り継承する事業	花田 住夫	20
11	蛭川	蛭川防災士協議会	防災・減災啓発大型紙芝居作成事業	林 悟	22
12	蛭川	わくわくひるかわ	蛭川の交流促進事業	庄田 早知子	24
13	蛭川	郷土文化財保存会	郷土資料の保存・継承事業	奥村 雅美	26
14	蛭川	さいびの会	蛭川の本と地域を継げる活動	西山 ゆかり	28

■立ち上げ部門

No.	地 区	団 体 名	事 業 名	代表者名	ページ
1	蛭川	有償ボランティアどんぐり	地域ボランティアグループ推進事業	田口 恵美子	30

令和6年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	てがのすわだいこほぞんかい		地域名	中津西		地区	
	手賀野諏訪太鼓保存会		会員数	10		人	
ふりがな 代表者名	はら もとゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	10 人(10 人)			
	原 元之						
事業名	手賀野諏訪太鼓保存会事業						
総事業費 内(補助金額)	340,000 円 (200,000 円)		実施期間	令和 6 年 5 月 15 日から 令和 7 年 3 月 17 日まで			
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	・会員が練習や研修会を通して諏訪太鼓を習得し、手賀野地区敬老会や手賀野諏訪神社例祭の秋祭りで区民の皆さんに演奏を披露する。 ・地域のイベントを盛り上げるとともに住民間の交流を深める。 ・手賀野地区・西地区の子ども達に太鼓の面白さを伝え、諏訪太鼓の保存・継承につなげる。						
	具体的な活動内容						
	・一人住まいの方の食事会で演奏 ・7月の手賀野盆踊りで演奏 ・9月の敬老会で演奏 ・10月の諏訪神社例祭で演奏 ・岡谷市の道場にて研修会の実施(7人×4回)*飛竜三段返しを習得 ・周囲への声かけ						
	主な活動の流れ						
			練習		練習		
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
・講習及び練習により、演奏項目(飛竜三段返し)の各パートを会員全員が習得出来た。 ・Tシャツを製作し、衣装を合わせ見た目にも1ランクUP出来た。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
・2種類の演奏項目を叩き込み、一段と鍛錬する。又、演奏出来る場所を増やす。 ・他団体との連携を行いたい。							

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



一人住まいの方の食事会での演奏

諏訪神社例祭での演奏
（衣装を合わせ演奏）



御諏訪太鼓教室
講習風景
（飛竜三段返し）

サンライフ別館
練習風景
（日曜日18:30～20:30）



(令和6)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎっこあつまれじっこういいんかい		地域名	苗木 地区	
	苗木っ子あつまれ実行委員会		会員数	20 人	
ふりがな 代表者名	おがわ ゆかり		延べ 参加人数 内(会員数)	413 人(68 人)	
	小川 ゆかり			6/26 第1回実行委員会(13人) 7/24 第2回実行委員会(14人) 10/2 第3回実行委員会(12人) 12/7 苗木っ子あつまれ～！361人(16人) 12/17 第4回実行委員会(13人)	
事業名	苗木っ子あつまれ		実施期間	令和 6 年 6 月 26 日から 令和 6 年 12 月 17 日まで	
総事業費 内(補助金額)	413,869 円 (200,000 円)				
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	⑪
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業 内容	事業の目的				
	苗木に住む子ども達が地域に愛着を持ち、安心して暮らせる将来を見据え、子ども同士の絆や大人との絆をつくる活動を行っていく。 苗木っ子あつまれ開催当日は 映画上映、駄菓子屋さん、わらべうた遊び、軽スポーツ体験、木育体験、缶バッジづくり体験などのコーナーを設け、大人だけでなく子ども達も運営に関われる場所をつくる。 孤食の家庭も多いといわれる昨今、大勢で食べる楽しさを味わってもらうため、手作りカレーを提供して「なかま食堂」や「こども食堂」につながる食堂を運営する。				
	具体的な活動内容				
	①6/26 第1回 実行委員会 ⑦12/17 第4回 実行委員会(反省会) ②7/24 第2回 実行委員会(チラシ案作成) ③10/2 第3回 実行委員会 ④10/10 チラシ最終校正 ⑤10/25 苗木地区へ広報配布 ⑥12/7 「苗木っ子あつまれ～！」開催				
	主な活動の流れ				
		①	②	③、④、⑤	⑥、⑦
	4月	6月	8月	10月	12月
	2月				
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）				
	参加した子ども達から、「楽しかった！またやってほしい」との感想を多くいただいた。 スタッフとして参加した中学生ボランティアや子ども議会の子達も、自分達の持ち場を自分達で工夫してやりきり達成感を得たようだった。 大人からも、「普段子ども達と触れ合う機会が少ない中で、子ども達の笑顔が見れて嬉しかった」と感想をいただいた。 実施後、交流センター(交流スペース)を訪れる児童が増えたように感じる。				
今後の展開(自立に向けた活動)					
映画上映については、今後(がんサポ終了後)の展開を視野に考える必要がある。 ボランティア以外の中学生参加者が少ないので、中学生も参加したくなるように内容を工夫したい。					

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



受付 中学生ボランティア



映画上映前



駄菓子屋



缶バッジ作り



木育遊び



木育遊び 魚釣り



リクレーション



カレー作り

令和6年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	しきゅうしゃのかい		地域名	落合地区	
	孜汲舎の会		会員数	4人	
ふりがな 代表者名	かいちょう みずの かつし		延べ 参加人数 内(会員数)	473 人(67 人)	
	会長 水野 克司			孜汲舎勉強会4月～3月 82人 夏休み子ども塾8/5～8/9 331人 落合の宝物発表会8/18 8人 落合をめぐるウォーキング 25人 落合大好きっ子写真展 27人	
事業名	孜汲舎活動事業		実施期間	令和 6 年 4 月 8 日から 令和 7 年 3 月 24 日まで	
総事業費 内(補助金額)	201,274 円 (200,000 円)				
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④⑨⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業 内容	事業の目的				
	地域に暮らす先人として、子ども達に地域の歴史や文化を伝え、ふるさとに愛着する誇りを持てる子どもを育てる				
	具体的な活動内容				
	落合小学校の空き教室を利用したり、その他の場でふるさと学習の支援や子どもに落合の魅力を伝える。				
	①孜汲舎(落合小)での勉強会(落合小学校郷土学習支援)4月～3月				
	②夏休み子ども塾 8/5～8/9				
	③落合の宝物発表会 8/18ひと・まちテラス				
	④落合をめぐるウォーキング 10/17				
	⑤落合大好き写真展 11/2本陣、(R7.3/2予定)				
	⑥落合の土器や縄文文化について学習11/7				
⑦落合宿と隣接の三宿の宿場絵図のパネル作成 中山道資料館協議、東京国立博物館画像利用 協議申請、事業者へ作成依頼・協議調整					
⑧落合ダム建設時写真及びその他古い資料のデータ化					
⑨孜汲舎の会校内発表会R7.2/17、2/18、2/19					
主な活動の流れ					
4月 6月 8月 10月 12月 1月 2月 3月					
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
成果 ・地域の歴史や文化を子どもたちに伝える活動ができた。 ・地域の歴史や文化に触れることで子ども達に地域への愛着や誇りが芽生えた。 ・孜汲舎の会と学校の活動との連携、子どもとの関わりを深めることができた。					
苦勞したこと ・子どもとの関わり方や子どもの活動時間や学校の行事等の制約(下校時間)に苦勞した。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
引き続き孜汲舎の会として ・地域の歴史や文化への関心や知識を深め、子どもの目を通した地域の宝を再発見する。 ・発見した宝などを地域に発信し、地域活性化、落合の魅力向上、文化の継承に結びつける。 ・学校と地域の連携を深めて、地域学校協働活動活動を推進する一助とする。 ・活動に関わる子ども、大人の人材を増やす。					

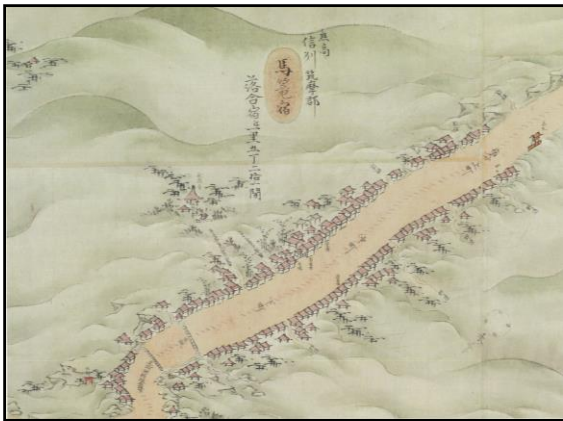
活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



夏休み子ども塾の企画運営に参加、スタッフとして協力。お楽しみ学習の中では、『落合の歴史を知ろう！』と題した歴史や民話などを子ども達に学んでもらいました。



健康推進員と歩こうウォーキングで史跡や神社仏閣などコースに設定し、落合小2、3年も参加して歴史や絶景を感じてもらい、郷土愛醸成を図った。



【馬籠宿】



【落合宿】



【中津川宿】



落合小学校内「菰汲舎」で子ども達と落合の郷土や歴史について学習したり、発表会の企画準備などの活動を行った。※写真は中津川市の学芸員にお願いし、土器や縄文文化についての学習をしているところ。



「菰汲舎」で学習した内容をまとめ、ひとまちテラスで発表会を開催しているところ。

地域の子ども達に江戸時代の頃の宿場状況を学んでもらう目的で、幕府道中奉行所が18世紀末から測量・調査作成した中山道分間延絵図（所蔵：東京国立博物館）の画像利用許諾をとり、切り取り、接合などを行い、落合宿及び隣接する馬籠宿、中津川宿の絵図3枚を98cm×68cmにパネル化した。パネルは、落合小学校に設置し、落合地区のこどもや令和8年度小学校の統合により落合小学校へ来る神坂地域のこどもたちにみてもらえるようにしています。

ふりがな 団体名	あぎのきねんしさくせいいいんかい		地域名	中津川市阿木		地区																																			
	阿木の記念誌作成委員会		会員数	12		人																																			
ふりがな 代表者名	すずきひろゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	人(人)																																					
	鈴木弘之																																								
事業名	阿木の史跡・文化財とふるさとの歌 の記念誌を作成する																																								
総事業費 内(補助金額)	204,916 円 (200,000 円)		実施期間	令和 6 年 6 月 1 日から 令和 7 年 3 月 31 日まで																																					
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④																																				
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																																					
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																																					
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他																																					
事業 内容	事業の目的																																								
	中津川市阿木、飯沼、広岡には文化財、史跡、故郷の歌がたくさんあります。 阿木の文化と歴史をタイトルとして、オールカラーで阿木の 史跡・文化財・芸能関係では阿木歌舞伎・八屋砥獅子舞等又の・阿木音 頭・飯沼音頭・阿木小中学校の校歌等を掲載して作りたいと思っていま す。																																								
	具体的な活動内容																																								
	1年目は 第1部として 文化財、神社仏閣編 1,000部作製																																								
	2年目は 第2部として 歴史編 1,000部作製																																								
	3年目は 第3部として 芸能・民謡・校歌編 1,000部作製																																								
	主な活動の流れ																																								
	<table border="1"> <tr> <td>頑張るサポート申請</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>記念誌ゲラ刷り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>記念誌印刷</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td></td> <td>2月</td> </tr> </table>						頑張るサポート申請							検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議							記念誌ゲラ刷り								記念誌印刷	4月	6月	8月	10月	12月		2月
	頑張るサポート申請																																								
	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議																																			
					記念誌ゲラ刷り																																				
						記念誌印刷																																			
4月	6月	8月	10月	12月		2月																																			
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）																																									
学校の歴史、大日向遺跡、阿曾田遺跡、阿木城跡、阿木の古墳、地層と化石、阿木鍾乳洞、阿木地区遺跡マップ、の項目に分けて、わかりやすく編集しました。それぞれの項目の関係者もこころよく協力していただきました。第2集歴史編も立派な小雑誌になったと思っています。																																									
今後の展開（自立に向けた活動）																																									
作製した記念誌を、阿木全戸に配布したいと思っています。 その他、阿木小・中学校・阿木高等学校の生徒に配布します。 中津川市の図書館・中津川市の各地区公民館にも配布します。 これにより阿木をよく知って戴きたいと思っております。																																									

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



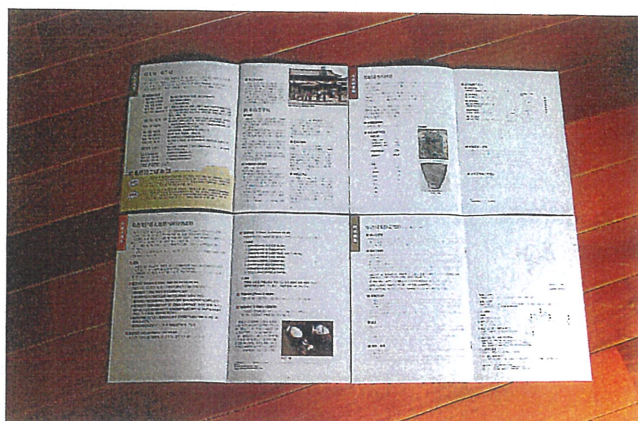
記念誌 編集会議の様子



記念誌 ゲラ刷りの確認



記念誌 1,000 冊 納入



記念誌 1～8 ページ



記念誌 9～14 ページ表紙裏表紙



記念誌 立派な小雑誌完成

令和6年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	やさかつきのいちじこういんかい		地域名	坂下		地区	
	やさか月の市実行委員会		会員数	30		人	
ふりがな 代表者名	かまだ のりゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	21,000 人(155 人)			
	鎌田 則之			・実行メンバー事前会議7回(95人) ・実行メンバー事後会議1回(25人) ・イベント準備4日(35人) ・イベント開催7日(約21,000人)			
事業名	やさか地域活性化事業		実施期間	令和 6 年 6 月 6 日から 令和 7 年 2 月 20 日まで			
総事業費 内(補助金額)	262,040 円 (200,000 円)						
事業 分類	番号	①②	活動 分野	番号	①④		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的						
	やさか地域が、かつての賑わいを取り戻し、地域が元気で、人々が集い笑顔あふれるまちづくりを目的に、「やさか月の市実行委員会」を立上げ、年間をとおして開催される各種イベントとコラボレーションして、運営の協力をを行い地域の活性化を図ります。また、新たなイベントを計画するとともに毎月1回を基本として行事の開催及び催事の誘致等を行い、やさか地域各地区との連携を図ります。						
	具体的な活動内容						
	(会議の開催) ・各実行委員会等が開催するイベントへの参画及び自主運営における実行メンバー打合せ会を開催。この会議では各イベントの準備、内容の確認、必要備品の確認、役割分担、反省会を実施する。 (イベントコラボ・自主運営) ・各イベント実行委員会と連携を図り、飲食、マルシェブースの出店取りまとめ及び企画と催事に協賛。 ・自主運営イベント(桜の湖音楽フェス、ワカミヤフェス、初えびす)の企画運営。						
	主な活動の流れ						
			●7月与三郎会議 ●8月与三郎(コラボ)				
			●8月そば花会議 ○9月ワカミヤフェス(運営) ●そば花(コラボ)				
			●10月やさか花火(コラボ)				
			●12月初えびす会議 ○1月初えびす(運営)				
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)							
各イベントの実行委員会と月の市実行委員会とのコラボレーションにより地元産直、キッチンカー等によるグルメ、手作り品販売のマルシェなどでイベントへの付加価値を高め交流人口及び観光誘客の拡大につながっています。今年度は、上記内容の他に以下の活動を行い来場者増加の成果を得ました。 ○与三郎まつり(8月 地域の夏祭りイベント)⇒地域の「子ども達の遊び場ブース」を設置 ○桜の湖そばの花まつり(9月 観光イベント)⇒やさかの子ども達に「熱気球無料体験」を実施 ○元旦マラソン、初えびす(1月 地域イベント)⇒地域への還元として、参加及び来場者に「福袋」を提供 ⇒新春餅つき大会の実施で、餅を振る舞い来場者に還元							
今後の展開(自立に向けた活動)							
自立に向け、がんばる地域サポート事業補助金(2年目)の活動として ・主要事業(与三郎祭り、桜の湖そばの花まつり、やさかふるさと花火大会)の3事業に、自主3事業(桜の湖音楽フェス、ワカミヤフェス、初えびす)を含め、収益事業の考案に取り組む。 ・定期開催を計画している「月の市」(毎月第二日曜)の実施に向け、やさか地域の連携再確認。 ・イベント運営協力ボランティアの安定的な受入れのため、連絡調整を図る。							

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



○ 栂の湖そばの花まつり
・グルメ出店→
・マルシェ出店←



○ 与三郎祭り
・会場全体風景→
・ステージイベント←



○ 元旦マラソン
・スタート
○ ワカミヤフェスティバル
・グルメ、マルシェ出店



○ 初えびすin小さな月の市 ・新春餅つき大会 ・キッチンカーグルメ
* 特別出演/上杉美浩さんとジャッキーちゃん

令和6年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかししょうぼうとものかい		地域名	坂下		地区	
	坂下消防友の会		会員数	85		人	
ふりがな 代表者名	かとう のぶや		延べ 参加人数 内(会員数)	200 人(40 人)			
	加藤 展弥			・役員会(2回)……………25名 ・講演会(1回), 研修会(2回)……150名 ・地域防災会議(1回)……………25名			
事業名	避難所運営サポーター事業						
総事業費 内(補助金額)	260,061 円 (200,000 円)		実施期間	令和 6 年 6 月 6 日から 令和 7 年 2 月 20 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①②		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	坂下消防友の会は、消防団坂下分団の側面的支援団体として、平成20年の設立以来、有事における団活動の応援、支援、操法県大会における出場協賛金募集活動を行ってきました。 近年の気象状況の変化、地球温暖化による「迷走台風・線状降水帯」の停滞に伴い予想外に雨量が増加するなど木曽川に隣接する坂下地区では昨年、一昨年と避難指示が発令され、今後も避難所開設が予想されることから、団活動の応援に加え、坂下地区各所の避難所運営の一助を担い「避難所運営サポーター」として地域福祉の向上と安心安全の坂下地区に寄与することを事業の目的としました。						
	具体的な活動内容						
	◇2年目としての具体的な活動内容 ☐ 坂下地区の各種防災に関係する団体などへの防災意識高揚のための防災講演会の開催 ☐ 地域行事の応援及び総合防災訓練への協力、参加 ☐ 災害対策協議会等との連携に向けた、地域防災会議の開催 ☐ 防災士有資格者の増員 ☐ 補助事業2年目の検証及び次年度への計画確認						
	主な活動の流れ						
	役員会、総会 ●(総会5/27)	○8/5				○2/17	
	役員研修会				○12/25	○1/14	
	地域防災会議		○9/9				
	防災講演会						○2/12
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)							
☐ 避難所運営に活用するため、夜間用防災グッズとしてヘッドライトを購入した。 ☐ 役員会、総会を開催し「坂下地区避難所運営サポーター組織図」を完成。 ☐ 防災、減災をテーマにした講演会の開催及び事前に、講師を交え役員研修会を2回開催。 ☐ 災害対策協議会及び防災士会など、防災諸団体連携のもと「地域防災会議」を開催。 ☒ 台風により「総合防災訓練」を中止。 ☒ 避難指示発令もなく実践活動はなかった。デモ体験の計画をしたが、実施に至らなかった。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
☐ 組織図を活用した「坂下地区避難所運営サポーター」訓練の実施。 ☐ 災害対策協議会、防災士会との連携による「地域防災会議」の定例化。 ☐ 防災関係者連携による「総合防災訓練」の実施。 ☐ 地域住民の防災意識高揚のための「坂下地区防災講演会」の開催。							

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



○夜間活動曜ヘッドライト ○講演会参加粗品

○役員研修会(12/25)

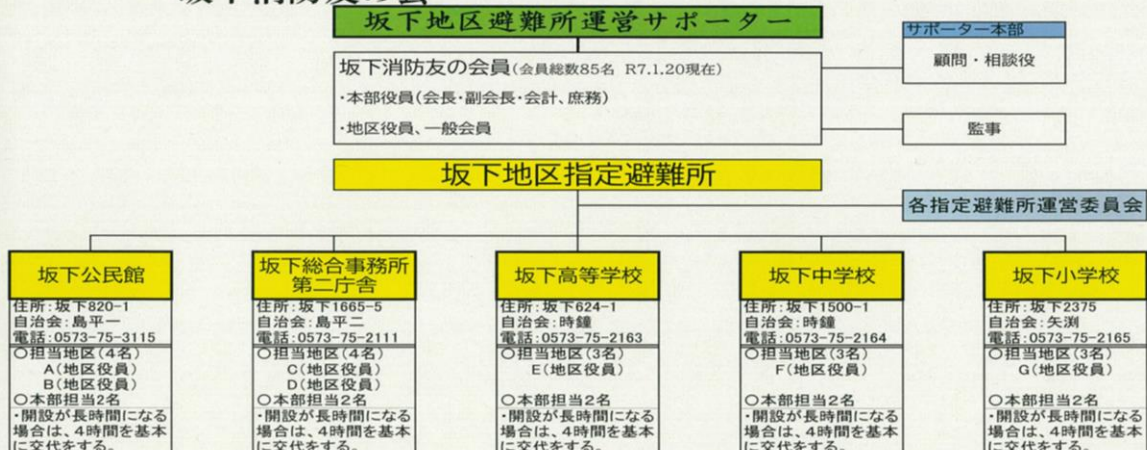


○坂下地区災害対策協議会を主とした防災関係の最高機関「坂下地区防災会議」(9/9)



○「坂下地区防災講演会」の開催(2/12)

坂下消防友の会



坂下地区指定避難所応援マニュアル（中津川市避難所運営・開設マニュアル参考）

- 指定避難所開設が決定されるまでの対応(事前連絡により準備体制を図る)
- ・各担当避難所へ集合 開設に向けての準備対応(資機材、物資等の搬入応援へ打ち合わせ)

★避難指示発令

○指定避難所開設決定後の対応

- ・サポーター人員確認へ本部への報告 避難者の避難所への誘導へ受付
- ・避難所運営会議への参加へ物資の配給応援など
- ・避難者の状況により、施設内の区分け、間仕切りテント、簡易ベッド、段ボールベッド設置などの対応を行う。

(令和6)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ゆうしょうぼらんていあ えぷろん		地域名	加子母		地区	
	有償ボランティア えぷろん		会員数	14		人	
ふりがな 代表者名	くまざわ えみこ		延べ 参加人数 内(会員数)	327		人(14 人)	
	熊澤 恵美子						
事業名	有償ボランティア【えぷろん】 ボランティア活動推進事業						
総事業費 内(補助金額)	255,260 円 (200,000 円)		実施期間	令和 6 年 6 月 1 日から 令和 7 年 3 月 21 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	普段の生活の中で『ちょっとした困りごと』をお手伝い(有償ボランティア)することで加子母地域の方々がほんの少しでも安心して暮らせるための仕組みづくりの一端を担いたい						
	具体的な活動内容						
	車の送迎以外で介護保険サービス、シルバー人材センター、ファミリーサポートセンターなどの公のサービスでは補えない部分のお手伝いを行う 作業時間 10分につき100円+ボランティアの交通費(1*。×20円)の費用を利用料として負担してもらう 作業内容 ・ストーブの灯油補充 ・服薬確認 ・服薬確認を兼ねた昼食時の見守り ・安否確認 ・生協の品物の片付け ・家の中の掃除 ・布団などの片付け(押し入れへの収納) ・ゴミ出し ・買い物代行 ・調理の手伝い ・介護者の留守中の付き添い(寝たきりの高齢者) ・調理の手伝い ・資源ごみの仕分けとゴミ出し ・玄関出入り口の雪かき ・玄関先の草刈り ・ストーブの灯油を補給 ・塗薬塗布の手伝い など						
	他団体との交流(情報交換など) ・『ねこのて』(付知) 『どんぐり』(蛭川) との情報交換会を行い各地域での活動に関する状況など話し合いながら地域に合った活動の展開方法など検討した。また、民生委員児童委員会にて【えぷろん】の活動紹介を行い普段の活動での協力、連携を図ることができた						
	主な活動の流れ						
	随時活動	事務用品、機器等購入 事務場所の整備		活動用備品(マスク、エプロンなど)の購入 事務用品購入			
	毎月報告会議開催						
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
『ちょっとした困りごと』を依頼されるきっかけはほとんどが介護保険では補えない部分の内容が多く、ケアマネージャーさんからの相談により利用に結びついています。「高齢のひとり親の服薬確認や、安否確認してもらうことで、仕事に出ていても安心して働ける」「(少額な)有償であることで、お礼や、気兼ねすることなくお願いできる」などこの活動をよろこんでいただいています。 また、えぷろんのお手伝いに行くことで話相手をしながら相談事などもあり、必要な機関へ繋げていく事もあります 利用者さんの要望などに応えられるよう、毎月開催する連絡会議でケース検討や、対応などについてみんなで協議を重ねています このことがメンバーそれぞれのスキルアップにつながっています。 苦労していること 昨年度より利用される方が増えたこともあり、スケジュールや、シフトを組む際にその調整が難しいこともあります。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
・地域での助け合いが【えぷろん】のボランティア活動を通して一人でも多くの方に理解してもらいながら、ボランティア活動への参加者が増えるよう働きかけていきたい(ボランティア活動の啓発活動などの取り組み) ・『ちょっとした困りごと』が気兼ねなくお願い事として【えぷろん】などに依頼できるような環境づくり(ケアマネさんや民生委員児童委員さんとの連携していく など							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



マスク、携帯用消毒、介護用手袋などを整備しました



他地域団体との情報交換・交流会



玄関周りの雪かき



掃除と片付けのお手伝い



服薬と安否確認



有償ボランティア 【えぶろん】 活動実績

	令和4年度 (R4年7月 ～R5年3月)	令和5年度	令和6年度 (令和6年4月～令和7年 2月末)
利用者			
利用登録者数 (新規)	11人	10人	6人
実利用者数	9人	15人	12人
ボランティア登録者数	13人	14人 (新規1名)	15人
【えぶろん】稼働件数	270件	187件	260件
ボランティア活動時間 (分)	6,480分	4,430分	8,130分
ボランティア活動人数 (延べ)	297人	217人	288人
利用料	82,760	53,900	108,480
ボランティア報酬	82,180	46,020	92,220
活動 (支援) 内容	・服薬確認 ・ゴミ出し ・安否確認 ・話し相手 ・香典の依頼 ・家事援助 ・買い物代行 ・ストーブの灯油補給 - など	(4年度の活動に加え) ・家屋内の掃除 ・玄関先の草刈り ・玄関周りの雪かき ・長期留守中宅の鉢植えの水やり ・昼食・夕食の提供 (見守りを兼ねる) ・封筒のあて名書き	(4年度・5年度の活動に加えて) ・布団クリーニング ・生協品物の収納 ・外出時 (郵便局) 付き添い ・資源ごみの仕分け



(令和6)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけち ぼうさいしかい つけち防災士会		地域名	付知		地区	
			会員数	32		人	
ふりがな 代表者名	にしお かずひさ 西尾 和久		延べ 参加人数 内(会員数)	158		人(32 人)	
事業名	つけち防災士会						
総事業費 内(補助金額)	200,000 円 (200,000 円)		実施期間	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 7 年 3 月 5 日まで			
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	② ⑨		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的						
	地域防災において重要なことは、そこに住む人々が『自分の命は自分で守り、自分達の地域は自分たちで守る』という強い意思と行動力を持つことです。 つけち防災士会は、地域住民に対して防災・減災の重要性を継続的に発信し、更に具体的な対策の支援を行うことにより有事の際に備え、被害の低減に寄与するよう活動をする。						
	具体的な活動内容						
	1. 主体的に取り組む事業 ①防災意識の啓発活動(講演会、講座等) ②防災対策(家具の転倒防止取付、支援)						
	2. 諸団体の企画・実施する防災事業への支援、協力 ①付知まちづくり協議会の学校等を対象とした防災訓練。付知社会福祉協議会等が企画・実施する防災訓練等						
	3. 行政及び自治組織との連携 ①中津川市当局の防災・減災施策の浸透支援 ②付知区長会、自主防災会等の地域防災活動の支援						
	主な活動の流れ						
				(別紙1 参照)			
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。) 別紙2 参照						
1.主体的に取り組む事業については、防災意識の啓発活動の講演会の開催、小学校の防災授業を実施。また、つけち防災士会の一番の活動目的である防災対策「家具の転倒防止」の受付を開始、公共施設等を5事業所、58か所の取付けを実施した。 町内へは各区長、区会での説明(三地域説明を実施)。							
2.諸団体への協力については、付知まちづくり協議会の小学生を対象の「命を守る訓練」のアドバイザー。また、社会福祉協議会の中学生ボランティア福祉講座の講師、災害ボランティア情報交換会パネリスト等として参加し、各団体への支援を実施。							
3.行政等への連携として防災安全課との意見交換会、防災連絡協議会・災害に強い町づくり協議会地域への参画。 また、自主防災会の活動に支援・協力しました。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
・今後2年間で各町内への説明会の開催を実施する。 「何故、家具の転倒防止が必要か」をプロジェクターを使用して説明し、実際の取付にはどのような金具が必要か実演する。また、取付の勧奨・受付行い取付につなげる。							
・南海トラフの地震に備え、小さな単位の防災講演会・出前講座を開催して防災意識の啓発を行う。							
・行政・諸団体等の連携、支援、協力をさらに密にして防災活動を進める。							

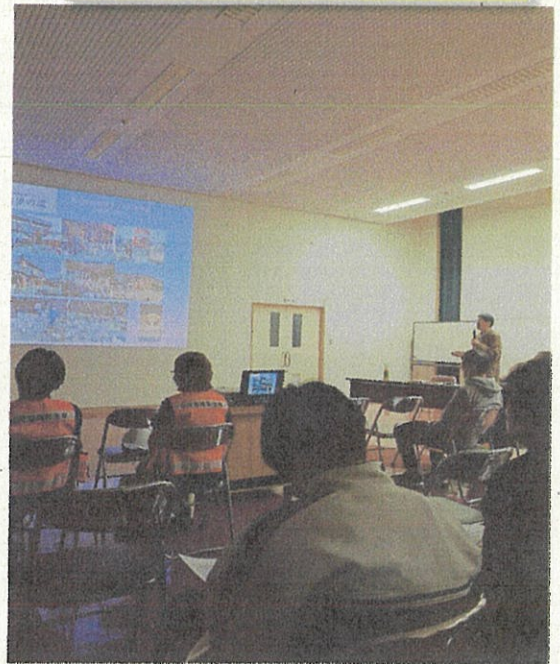
※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

「命を守る訓練」小学6年生 災害から命を守るお話



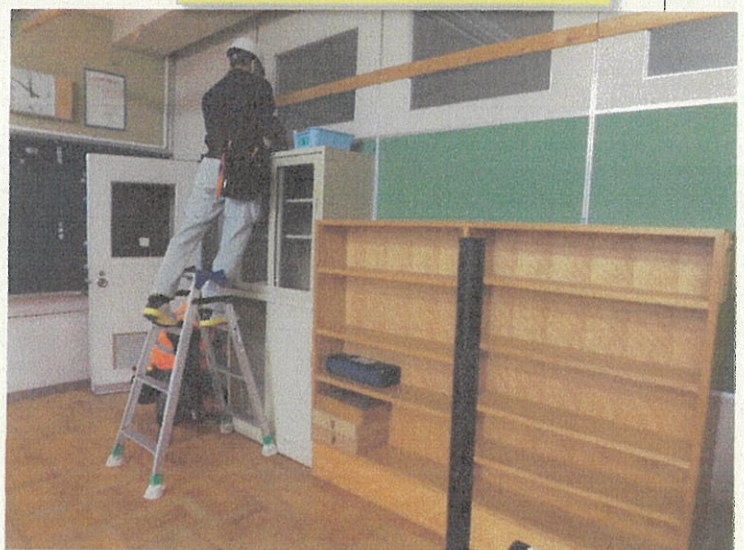
防災講演会(ペットとともに避難)



能登半島地震 義援金の募金活動(中学生・社協協力あり)



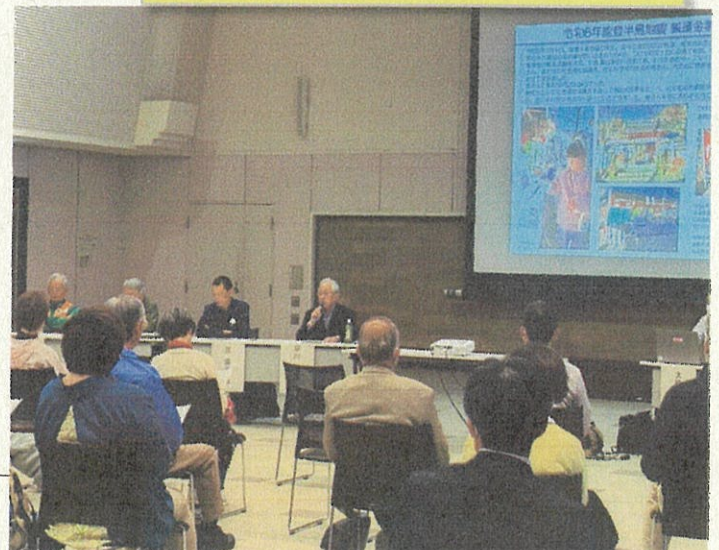
転倒防止取付(付知南小学校)



能登半島地震 災害ボランティア活動
(志賀町)



能登災害ボランティア情報交換会
(パネリストで参加)



(令和 6)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけちちようゆうりようざいせいさんけんきゅうかい		地域名	付知 地区		
	付知町優良材生産研究会		会員数	44 人		
ふりがな 代表者名	みうらはちろう		延べ 参加人数 内(会員数)	8 人(8 人)		
	会長 三浦八郎					
事業名	付知川河川公園 桜の樹整備事業					
総事業費 内(補助金額)	253,000 円 (200,000 円)		実施期間	令和 6 年 11 月 15 日から 令和 7 年 3 月 10 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	③	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	付知河川公園には原玉重先生より寄付していただいたソメイヨシノをはじめだれ桜、八重桜などが たくさん桜の木が植樹されています。付知町優良材生産研究会ではサクラの植樹やライトアップを 長年にわたって行ってきました。30年ほど前に付知河川公園の桜の木に設置されたライトアップ設 備が老朽化し、50年を超した老木も勢いが衰えてきています。付知川河川公園のライトアップ設備を 設置し直し、桜の老木の(テングス病、こばえ枝、青苔)の手入れをします。					
	具体的な活動内容					
	令和6年度は事業二年目として現在のライトアップ施設のうち、残り200mの撤去と新設を行いまし た。また、2カ所にある配電盤Boxのうち1カ所を取り替えと1カ所の新設を行いました。その部分の桜 の木のテングス病、こばえ、青苔等の整備を行いました。来年度はLED投光器によるライトアップを 行う予定です。					
	主な活動の流れ					
				旧電線撤去 コバエ整備	新電線取付	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	銅線やLED照明などの値上がりがあり、予定までライトアップの取替が進まなかった。コバエや青苔 の整備は出来たがテングス病の手入れが出来なかった。出来たら来年度に行います。					
	今後の展開(自立に向けた活動)					
○三年目:下からのライトアップの設置します。ライトアップ場所以外の桜の木の整備を行います。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



旧電線撤去作業



コバエ撤去 チッパー作業



青苔撤去作業



新設 分岐BOX設置



新設 分岐BOX設置



新設ライトアップ用电線ソケット付



電球ガード



LEDライト

(6)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ふじやまこうえんをつつくしするかい		地域名	山の田・野尻		地区
	富士山公園を美しくする会		会員数	30		人
ふりがな 代表者名	はなだ すみお		延べ 参加人数 内(会員数)	21 人(人)		通路清掃 6名、下草刈り 5名、満天星 植樹8名 肥料散布2名
	花田 住夫					
事業名	どうだんつつじをまもりけいしょうするじぎょう 満天星つつじを守り継承する事業		実施期間	令和 6 年 6 月 1 日から 令和 7 年 3 月 15 日まで		
総事業費 内(補助金額)	201 千円 (200 千円)					
事業 分類	番号	①②	活動 分野	番号	①③⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの発展に寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	・公園内の満天星ツツジの整枝、苗木、植樹などを終わらせ公園全体の景観を良くする。 ・頑張るサポート事業の活動にて地域の人達の集会によりなお一層強い絆意識を作る。 ・富士山公園を巡る通路の整備を行い高齢者、いつも来る幼稚園生も気持ちよく見晴台まで登る通路整備を行う。 ・福岡地区の名所「満天星ツツジ」の群生地が3年の支援を受けて富士山稲荷公園として整備でき次世代へと継承するための基盤をつくる。					
	具体的な活動内容					
	令和6年度の活動報告 (1)通路階段の擬木による修復、。 (2)公園内一般清掃。 (3)「満天星ツツジ」への肥料散布。					
	主な活動の流れ					
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
○ 階段資材の実像に実感がわからずに困惑した。 ○ 斜面に対してどのような角度で据え付けるかに悩んだ。 ○ 階段踏面に入れる碎石が予想以上に多く入りビックリした。 ○ 完成した階段は見た目にもよく、なかなかの完成度でした						
今後の展開(自立に向けた活動)						
○ 公園の補修箇所が各所にあり、補修作業を続け、活動の伝承をする。 ○ 階段の補修方法などを書面に残しておく。 ○ 満天星つつじをふたたびパンフレットの一面を飾る事が出来るように地区民全体で管理する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等



資材到着(R6.11.11)



碎石搬入(R6.12.6)



仮枠設置(R6.12.6)



碎石挿入(R6.12.5)



設置斜面(R6.11.30)



2箇所目工事着工(R7.3.1)



工事完成(R6.12.9)

令和 6年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ヒルカワボウサイエキョウギカイ		地域名	蛭川		地区	
	蛭川防災士協議会		会員数	30		人	
ふりがな 代表者名	ハヤシ サトル		延べ 参加人数 内(会員数)	24 人(24 人)			
	林 悟						
事業名	防災・減災啓発大型紙芝居 作成事業						
総事業費	101,000 円		実施期間	6 年 7 月 4 日から			
内(補助金額)	(100,000 円)			7 年 3 月 25 日まで			
事業 分類	番号	1		活動 分野	番号 1.9.11		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	A1大の大型の防災・減災に関する内容の紙芝居を作り、地域の防災教室などで防災・減災の啓発・啓もうを行う。						
	具体的な活動内容						
	・紙芝居の内容を検討 ・筋書きを作成する ・具体的なセリフ等を検討 ・絵と台詞の抱き合わせを検討 ・台詞に合わせた下絵を書き込む(中学生ボランティアに色塗りを依頼)						
	おもな活動の流れ						
			内容の打合せ		台詞と絵の抱き合わせ		
			筋書きの作成		下絵の書き込み		
			台詞の検討				
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
全員参加の予定であったが、それぞれに忙しく、なかなか全員参加とはいかなかった。グループラインにより、状況報告が出来、共有は出来ていた。 下絵作成のところまでは順調に行ったが、下絵作成者が忙しく、3月末まで作業がずれ込んでしまった。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
保育園、小学校、中学校、地域や各種団体での防災訓練、防災講演会などで、実演し、自然災害と防災・減災についての知を広め、個々人の災害時の対応を確立させる。							



R6.7.25 打合せ会議にて原案の検討



R6.8.22 打合せ会議にて原案の肉付け

(令和6)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	わくわくひるかわ		地域名	蛭川		地区	
	わくわくひるかわ		会員数	10		人	
ふりがな 代表者名	しょうだ さちこ		延べ 参加人数 内(会員数)	200 人(45 人)			
	庄田 早知子			6月:打ち合わせ・準備(14名) 8月:蛭子座でモザイクタイル工作90名(15名) 8月:やすらぎ荘でモザイクタイル工作50名(5名) 10月:活性化センターでモザイクタイル工作20名(2名) 12月:やすらぎ荘でレジン制作20名(3名) 2月:反省会(6名)			
事業名	蛭川の交流促進事業						
総事業費 内(補助金額)	223000 円 (200000 円)		実施期間	令和 6 年 6 月 1 日から 令和 7 年 2 月 24 日まで			
事業 分類	番号	①③	活動 分野	番号	①④⑨⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	わくわくひるかわは、全世代及び同世代の交流、地域のコミュニティづくりの場の提供・促進をすることを目的に発足。制作活動を通して、世代間交流を深める。⇒年代ごとの特色や各自の得意なことを活かし、お互いをフォローしたり交流したり、コミュニケーションを促進することができる。また、体験活動の機会を設けることで、蛭川でも様々な経験ができる機会を増やす。						
	具体的な活動内容						
	6月～打ち合わせ・準備 8月:蛭川蛭子座にてモザイクタイル工作体験を実施 8月:蛭川福祉センターやすらぎ荘にてモザイクタイル工作体験を実施 10月:蛭川活性化センターにてモザイクタイル工作体験を実施 12月:蛭川福祉センターやすらぎ荘にてレジン制作体験を実施 2月:反省会・報告書作成						
	主な活動の流れ						
		タイル等購入 打ち合わせ 準備	イベント実施 蛭子座 やすらぎ荘	イベント実施 活性化センター	イベント実施 やすらぎ荘	反省会 報告書作成	
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	・蛭子座で行った活動では、子どもからシニアまで、幅広い世代がモザイクタイル工作を通して交流することができた。小学生やシニアがスタッフとして、やりがいや達成感を感じながら働く姿が見られた。 ・やすらぎ荘で行った活動では、未就園児からお年寄りの方まで、幅広い世代が交流できるイベントとなった。ボランティアスタッフとして中学生も参加し、全員が充実感をもてる質の高い交流活動ができた。 ・活性化センターで行った活動では、小学生の放課後子ども教室の体験の一つとして実施した。体験活動を通して、自分で考え作品を作る事の楽しさを実感することができた。 ・乳幼児親子を対象にレジン制作を行った。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
・様々な体験等を通して、より幅広い世代が交流し、地域の人々のつながりを生み出す活動を実施する ・手伝いとして参加してくれた子どもたちも交えて計画していくことで、よりよい交流活動にしていきたい。 ・モザイクタイルやレジン以外の活動も検討する。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



8月 蛭子座での活動

8月蛭子座イベントチラシ



8月 やすらぎ荘での活動



10月 活性化センターでの活動



12月 やすらぎ荘での活動



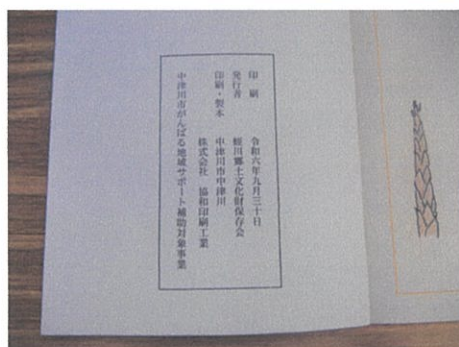
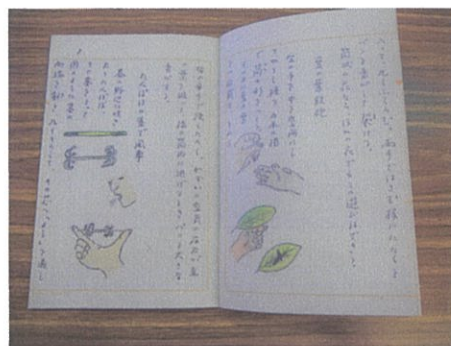
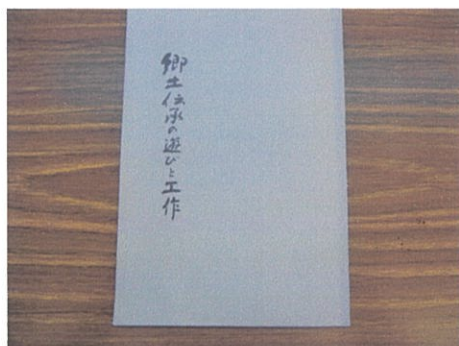
作品の一部

令和6年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	きょうどぶんかざいほぞんかい 郷土文化財保存会	地域名	蛭川	地区	
ふりがな 代表者名	おくむらまさみ 奥村雅美	会員数	3	人	
ふりがな 活動事業名	きょうどしりょうのほぞん・けいしりょうじょう 郷土資料の保存・継承事業	述べ参加人数内(会員数)	230人(30人)		
総事業費 内(補助金額)	200,995 円 (200,000 円)	実施期間	令和 6 年 6 月 2 日から 令和 7 年 3 月 20 日まで		
事業分類	番号	①	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業	活動分野	①健康・福祉	②生活安全	③環境
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		④観光・交流	⑤農業	⑥林業
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑦商業	⑧工業	⑨教育
			⑩文化・生涯学習	⑪その他	
	事業の目的				
	原稿用紙に手書きで本文と挿絵が書かれた「郷土伝承の遊びと工作」は昭和45年に和綴りで作成された冊子である。当時の子どもが野山の植物で遊んでいた様子が伺える大変貴重な資料である。手書きで作成されたため一冊しか存在しないので、本事業を活用して印刷製本し、多くの人が冊子を活用して、野山の植物に興味を持ち触れることで、特に幼少期の児童に対してはその感性を育てることができると考える。またイベントを通じて宣伝活動も行い、子ども園、小学校などに配布してこうした遊びを伝えることが郷土資料の保存・継承事業である。				
	具体的な活動内容				
	6月～8月 冊子「郷土伝承の遊びと工作」を解体して、スキャンしてデータとして取り込み編集 9月 印刷会社にデータを送り、印刷製本を依頼 10月 60冊刊行(製本終了) 11月 マイカ祭文化展にて宣伝活動 月2回郷土資料館資料整理 1月～2月 子ども園・小学校・図書館等に冊子配布				
	主な活動の流れ				
企画・準備	スキャン作業	編集	印刷製本	宣伝活動	冊子配布
4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
11月のマイカ祭文化展で展示宣伝活動を行い、中京学院大の先生や保育科の学生にも協力して頂き、実演などを行うことで地域の方々に見学頂いた。年配の方より「私も遊んだ」などの反響がみられた。また3月1日の恵峰ホームニュースで取り上げて頂き、冊子への問い合わせがあった。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
引き続き月2回程度の郷土資料館資料整理を行う中で、今回のような貴重な資料の保存・継承活動に力を入れていきたい。					

2. 活動状況が分かる写真

(1). 完成した冊子



(2). 11月3日マイカ祭文化展での宣伝活動



協力頂いた中京学院大学の先生と学生さん

ふりがな 団体名	さいびのかい		地域名	蛭川		地区																								
	さいびの会		会員数	5		人																								
ふりがな 代表者名	にしやま ゆかり		延べ 参加人数 内(会員数)	約80 人(人)																										
	西山 ゆかり			10/8 文学散歩 21人 11/3 まいか祭(古本市) 40~50人 11/29 アスリート講演 3/2 葉・ブックかばーをつくろう 8人 5/11 11/9 リサイクル 3人x2																										
事業名	蛭川の本と地域を継げる活動		実施期間	令和 6 年 5 月 24 日から 令和 7 年 3 月 25 日まで																										
総事業費 内(補助金額)	375,400 円 (200,000 円)																													
事業 分類	番号	2	活動 分野	番号	① ④ ⑩																									
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																										
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																										
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他																										
事業 内容	事業の目的																													
	蛭川済美図書館を中心として蛭川の地域の方と接してきました。 100年以上続いてきたこの活動を次の世代に残したいと思っています。しかしながら、近年ネットの普及により横のつながりが少なくなる中で蛭川の活気に貢献したいと考え 多くの人が参加できる事をする。																													
	具体的な活動内容																													
	① リサイクル活動に参加 ② 文学散歩『源氏ゆかりの寺 & 近江八幡』 ③ まいか祭 古本市 ④ 済美図書館へ飛び出す絵本寄贈・やすらぎ荘、ひなたぼっこ本寄贈 ⑤ アスリート講演会 青少年健全育成推進市民会議への協賛 ⑥ 葉とブックかばーを作ろう！																													
	主な活動の流れ																													
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">年間行事計画</td> <td colspan="2">計画→下見→募集→文学散歩</td> <td colspan="2">→本の寄贈</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">リサイクル・本の整理 →</td> <td colspan="2">→本の寄贈</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">募集→イベント</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> </tr> </table>						年間行事計画		計画→下見→募集→文学散歩		→本の寄贈				リサイクル・本の整理 →		→本の寄贈						募集→イベント		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	年間行事計画		計画→下見→募集→文学散歩		→本の寄贈																									
			リサイクル・本の整理 →		→本の寄贈																									
					募集→イベント																									
	4月	6月	8月	10月	12月	2月																								
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）																														
文学散歩では楽しみにされている方がいることで次につながっている。 いつもリサイクルでの本を集めることで少しでも役に立っていると実感することができた。 済美図書館へ本を寄贈することで子供たちが喜んでくれてよかった。 3月に文学散歩参加者達に声をかけて小規模の会を開いた。 今年は子供たちの単独でイベントができず 青少年育成へ協賛した。																														
今後の展開(自立に向けた活動)																														
今年 小規模の会(葉とブックかばーつくろう)を計画し実行した。自宅にいる65歳以上の方の集まる場所がないことがわかった。そして 次回は簡単なことで2~3ヶ月ごとに会を開催し、多くの意見を聞きそれを反映する。 さいびの会も時代・年齢でその方向性をニーズに合わせて活動していきたい。																														

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

5月・11月リサイクル



11月まいか祭(古本市)



10月文学散歩(大津歴史博物館)



(三井寺)



のぼり作成

3月葉とブックかばー



さいびの会 読書会のお知らせ!!

2025年3月2日(日)
13:00-15:00
場所 延子座1階

こんにちは。経川のさいびの会です。
今回、皆さんと一緒に楽しんでから、楽しい時間を過ごしたいと思います。
※ぜひ、気楽にご参加ください。

お申込みは
済美図書館(平日)又は西山まで
090-4162-0298

持ち物はこちらでもご用意いたします。

令和6年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ゆうしょうぼらんていあどんぐり		地域名	蛭川		地区	
	有償ボランティアどんぐり		会員数	6		人	
ふりがな 代表者名	たぐち えみこ		延べ 参加人数 内(会員数)	175 人(96 人)			
	田口 恵美子			訪問支援81回(会員81名 利用者77名) 会議2回(会員10名) 研修1回(会員5名 講師2名)			
事業名	地域ボランティアグループ推進事業						
総事業費 内(補助金額)	95,084 円 (50,000 円)		実施期間	令和 6 年 6 月 1 日から 7 年 3 月 31 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号		①	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	地域の高齢世帯や体が不自由な方が生活する上で抱かえるちょっとした困りごとを気兼ねなく頼めるグループを組織することで皆が地域での生活を安心して継続できるように活動する						
	2						
	・案内チラシを作成し支部社協のサロンなどで配布をしていただいた ・福祉センター、総合事務所、診療所などの窓口にチラシの配置をしていただいた ・支部社協の役員さんの研修会で活動を発表した						
	主な活動の流れ						
		周知・宣伝活動					
		訪問支援活動					
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
	・独居高齢者の依頼により自宅周りの除草、掃除支援 ・施設退所後、自宅で日中独居となる方の安否確認や食事支援 ・体調不良中に荒れてしまった畑の除草支援 ・不燃ごみ、可燃ごみの仕分け、ゴミ出しの支援 活動自体は大変喜んでいただいたが、入院・入所などで突然キャンセルとなることもあった 安否確認時、たき火をされていたのでケアマネに連絡して消火 冬季になり除草の依頼がないので活動が少ない						
今後の展開(自立に向けた活動)							
民生委員さんのご紹介により 今すぐには依頼はないが登録だけしたいという方が複数おみえになった。不安を抱えながら元気に生活しておられた。すでに生活に支障がある方についてはケアマネジャーさんや包括支援センターの相談員さんにより把握されているが 会員のまわりなどで困っている人がいないか 気を付けていく。登録をされている方へは定期的に様子をうかがっていく。今後も周知や宣伝活動をおこない登録・支援活動を増やしていきたい。また、ボランティアグループとして支部社協などの助成金がいただけるように地域の福祉行事に協力する。							

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



研修会



研修後の意見交換



草取り作業



作業時の休憩



作業後の風景



不燃物・可燃物片付け支援

中津川市 市民部 地域づくり協働課
TEL 0573-66-1111（内線4506）